

# 日本臨床検査専門医会

## 平成 18 年度第一回常任・全国幹事会議事録

平成 18 年 1 月 13 日

## 平成 18 年 第一回常任・全国幹事会議事録

開催日時：平成 18 年 1 月 13 日(金)、13 時～15 時

場 所：日本臨床検査医学会事務所

参加幹事：森三樹雄、熊谷俊一、水口國雄、石和久、池田斉、ヱ谷直人、小野順子、  
北村聖、諏訪部章、今福裕司、大谷慎一、舘田一博、橋本琢磨、深津俊明、  
松野一彦、佐藤尚武

参加監事：玉井誠一

出席 17 名

欠 席：宮地勇人、橋詰直孝、村上正巳、尾崎由基男、一山智、岡部英俊、  
渡辺清明、渡辺伸一郎、市原清志、小出典男、犀川哲典、藤田直久、  
保嶋実、濱崎直孝

欠席 14 名

(敬称略)

議事録署名人に、水口國雄副会長、松野一彦幹事を指名して議事に入った。

### 1. 平成 18～19 年度役員選定について・資料 1

森会長から再任の挨拶があり、次いで新役員の紹介と各幹事の自己紹介があった。

### 2. 各種委員会報告・審議

#### (1) 情報・出版委員会・資料 2 (石委員長)

JACLaP NEWS No. 80-No. 85、JACLaP WIRE No. 77-No. 89、Lab CP 23-1, 23-2 が昨年度発刊された。Lab CP 24-1 のテーマと執筆者について承認された。

薬事日報社の Medical Academy NEWS に、日本臨床検査専門医会として、月一回程度で新規収載検査の解説を定期的に連載する企画が石委員長より提案され、承認された。執筆者は会長と石委員長とで選ぶことになった。

#### (2) 未来ビジョン委員会・資料 7 (ヱ谷委員長)

現委員の任期を本年の春季大会までとし、改めて会員から新委員を募り、新規 WG を設置する。春季大会の時点で作業完了予定期日を過ぎている全ての WG を解散する旨を、JACLaP NEWS、JACLaP WIRE を通じて会員に告知する。

#### (3) 渉外委員会(池田委員長)

平成 18 年 7 月 21 日(金)に振興会セミナーを東京ガーデンパレスで開催する演題、演者は未定。

#### (4) 教育・研修委員会、資格審査・会則改定委員会 特になし

### 3. 平成 18 年度度年間行事予定について・資料 3

第 4 回常任幹事会は 6 月 9 日から 6 月 16 日に変更することが決定された。

第6回常任幹事会は12月8日から12月15日に変更することが決定された。

4. 臨床検査振興協議会について・資料4（森会長）

臨床検査振興協議会の「臨床検査のガイドライン 2005/2006 ハンドブック」配布事業について説明があった。

同ハンドブックは日本臨床検査医学会 包括医療検討委員会で作成中であるが、これを臨床研修医（2 学年分）に無償配布することになった。日本臨床検査専門医会もこの事業に協力し、一部費用を分担することが提案され承認された。分担金に関しては現在、交渉中である。

5. 内保連の加盟について（森会長）

内保連への加盟を予定していることが報告された。

6. 法人化について（森会長）

早急な法人化は行わず、当面様子を見ることが報告された。

7. 特定非営利活動法人 腎臓病早期発見推進機構の後援について（森会長）

上記法人より、特に検査に関して協力要請のあったことが報告された。

8. 第16回日本臨床検査専門医会春季大会について・資料5、8

4月21日、22日に高崎市のホテルメトロポリタン高崎にて開催予定であること、およびプログラムの概要が報告された。

9. 第17回日本臨床検査専門医会春季大会について（森会長）

大会長を旭川医大の伊藤喜久教授にお願いしたこと、平成19年6月上旬開催予定であることが報告された。

10. 平成17年度決算報告・資料6（佐藤庶務・会計幹事）

平成17年度決算については資料の通りであること、内容については土屋前幹事が高木前監事の監査を受けたことが報告し、決算書は報告通り了承された。

11. その他

諏訪部幹事より提案のあった「平成18年4月以降の医療費削減と検査部の対応をテーマに討議が行われた。

(1) 診療報酬改定について（森会長）

全体で約3.2%の引き下げになる見通しである旨、資料を使って説明された。

(2) 水口副会長から病理組織検査に関する見通しについて説明があった。

(3) 北村幹事から厚生労働省のホームページに資料

(<http://hodanren.doc-net.or.jp/iryoukankei/tyuuiyou/pdf/060111.pdf>) が掲示されている旨の発言があった。これに関連して麻酔科医、病理医が病院を離れ、会社を組織して業務する形態が出現していることが討議された。水口副会長からは検査センター等に勤務する病理医の身分に関して発言があった。

- (4) 北村幹事から検体管理加算とブランチラボ、選任の検査医の関係などについて質問があり、業務形態によって加算が異なることなどが議論された。

これに関して森会長より、「検体検査管理加算」の必要条件を満たしていない病院(兼任検査部長)で、県から返還させられたとの報道について説明があった。

- (5) 大谷幹事から外注検査の入札時、値引き率の低い検査所は足切りされる問題について質問があり、多数の幹事が意見を述べ、議論が行われた。

- (6) 玉井監事から専門医会は病院検査部(検査科)の確保を目指すのか、検査専門医の身分確保を目指すのか、検査医会の姿勢について質問があり、議論が行われた。

- (7) この他、以下のような点について討議された。

検査料の査定の問題、標榜の問題、登録衛生検査所の指導監督医について、専門医の確保・増加に関して、診療支援部とマネジメントに関して。

以上の問題に関して特に結論は出なかったが、全体としては先行きの不透明感に対する不安が感じられる議論だった。これに対して北村幹事から、未来ビジョン委員会の活発な活動による現状打破を期待したい旨、発言があった。

以上

議事録署名人

平成 18 年 1 月 19 日

水口國雄 印

平成 18 年 1 月 26 日

松野一彦 印